

ぼくは、犬や猫たちの幸せのために、保健所に保護され、殺処分される命をゼロにしたいです。そのためには、飼う側の人間の強い意志が必要です。犬や猫を飼うなら、必ず最後まで飼う、世話ができないなら飼わない、命に責任を持つということです。

ぼくが、このような考えを持つようになったのは、「犬たちをおくる日」というノンフィクションの本を読んだことがきっかけです。そこには、飼い主の勝手な理由によって保健所に連れてこられて殺処分されてしまう犬たちを減らすべく、ふんとうする職員のみなさんの様子が書かれていました。

その保健所には、1年間で平均8千頭の犬や猫が連れてこられていて、そのうち、飼い主を募集する譲渡会などでもらわれていくのは、百数頭だけだそうです。つまり、その他の犬や猫たちは殺処分されているのです。ぼくは、犬や猫たちを捨てる人の気持ちがわかりません。直接、保健所に連れてこられる例の中で、ある飼い主が言った言葉に驚きました。「この犬、アホな犬で言うことをきかんから、殺してくれ」今でも、ムカムカして、頭からはなれません。小さいうちは、それだけでかわいかったのでしょうか。でも、初めからすべてのことができるわけではないのだから飼い主がしつけをして、教えてあげなければならぬのに、飼い主の勝手な理由です。

保健所が行っている譲渡会では、希望者に厳しい8つの条件を出しているそうです。最後まで飼えるか、適切な環境か、手術などで繁殖を制限する必要性を理解できるか、近所に迷惑をかけないかなどです。1つでも当てはまらない条件があれば譲渡しません。ぼくは、この活動をペットショップでも取り入れてほしいと思いました。そうすれば、飼う前に命の大切さや、犬や猫を飼うことはどういうことかを考えることができ、簡単な気持ちで飼う人が減るのではないのでしょうか。最後まで責任をもって飼うには、最初の心構えと強い意志が必要だと思います。

ぼくの家にも、猫が2匹います。ネムとクマといいます。友達の家で生まれた子猫をもらいました。飼う時には、家族で相談して、必ず最後まで飼うこと、トイレや抜け毛の掃除をして清潔にすること、猫のごはんや水のお世話をしっかりして体調の管理をすること、しつけをすることなど約束しました。

ぼくは、毎日庭で遊んだり、おもちゃで遊んだりしています。のどが渇くと、水道の水をおねだりしたりしています。子どものようです。寝るときには、みんなが布団に入るのを待ってから、一緒に布団の中で寝ます。ネムとクマは、ぼくたちにとって大切な家族です。

先日、わが家のネコは繁殖を制限する手術をしました。家族みんな、すごく不安でしたが、手術することで、病気になりにくくなるということを知り、猫の将来も考えて手術をすることにしました。猫たちにとっては、つらいことですが、飼い主として、家族として、猫たちとこれからもずっと一緒に暮らしたいために決断しました。

犬や猫の殺処分がゼロになってほしい。そして、幸せな犬や猫たちが、どんどん増えていってほしい。そのために、ぼくたち人間にできることは、飼うなら責任をもって最後まで飼い、必ず幸せにすることです。人間は、犬や猫たちがいるだけで、幸せを感じたり、癒されたりします。でも、犬や猫たちも幸せでなければ意味がないと思います。だから、犬や猫たちを飼う時には、家族としてちゃんと最後までお世話をするという強い意志を持つことが必要です。そうすれば、人間だけでなく、犬や猫たちの、よりよい未来につながっていくのではないのでしょうか。